

食の安全性・安定提供に関する基礎および応用研究

環境人間学部 有満 秀幸

キーワード

細菌学、食品衛生、特異抗体、好熱細菌

研究概要

食の安全性や安定提供に影響を及ぼす、微生物学的な危害因子に関する基礎および応用研究を行っています。具体的には細菌毒素に対するポリクローナル抗体やモノクローナル抗体を作製して、種々の検体中からの検出や定量方法の確立、イムノクロマト法による家畜の感染症の迅速診断法や食品検査薬への応用を目指しています。

また、高温保存条件下で食品の変敗を引き起こす好熱細菌の制御方法を検討すべく、食品や環境から分離される好熱細菌の性状を調べ、見いだされた抗菌活性物質の性状についても解析を行っています。

アピールポイント

遺伝子組換え蛋白の作製、蛋白の精製を長年やっており、ワクチンや抗体作製の抗原にも応用してきました。解析は動物個体の反応から培養細胞、蛋白や遺伝子レベルの手法を用いて実施しています。

応用分野

ヒトや家畜の感染症診断や、食品衛生（食品検査、殺菌）など、ヒトの食の安全性や安定提供の分野。

